

【ポスター発表】

大学における福祉的対応（キャンパスソーシャルワーク）の発展可能性

－欧米の文献とHP調査からの検討－

○ 山形大学 中澤 未美子 (009275)

米村 美奈 (淑徳大学・003968)、名城 健二 (沖縄大学・006708)

長沼 葉月 (東京都立大学・007246)、長沼 洋一 (東海大学・008572)

澤田 佳代 (静岡大学・010126)

キーワード3つ：大学福祉、キャンパスソーシャルワーク、キャンパスソーシャルワーカー

1. 研究目的

大学内の相談窓口は多岐に渡る。例えば、勉学の相談、心身の健康相談、キャリア相談などがある。近年、先に挙げた以外に、社会福祉士や精神保健福祉士の資格を持ち大学内で学生の支援を行う「キャンパスソーシャルワーク（以下、CSW）」と呼ばれる実践がある。日本では「学生支援にはソーシャルワークモデルが有効的に機能する可能性がある」と米村（2008）が整理したのが始めであり、その後、CSWの実態、導入プロセス、機能などの報告がある。本研究では、今後のCSW実践の拡大可能性を検討するため、欧米の大学で学生支援に携わる social worker の文献や実践を調査し、日本のCSWとの差異を概観し、CSWの発展可能性を検討する。

2. 研究の視点および方法

Google scholar を用いて「campus」「student(s)」「support」「social work(er)」「student」「case manager」「college」「university」のキーワードの組み合わせで検索した。実践については、米欧でソーシャルワーク学部がある大規模大学の公式HP、および National Association of Social Workers (NASW) と Higher Education Case Managers Association (HECMA) のHPからCSWが提供するサービスについて調査し、整理・分析を行った。

3. 倫理的配慮

本研究は人を対象としない研究のため、研究倫理審査を受審しない。本発表に関連して、開示すべきCOIはない。また本研究の遂行にあたっては、「一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理規程」、「研究倫理規程にもとづく研究ガイドライン」を遵守し、共同研究者らも発表について承諾済みである。

4. 研究結果

上記のキーワード検索で抽出される英語論文は、ソーシャルワーク専門職を目指す学生における教育に関する教授法や、Bennett ER et al. (2021) が、COVID-19 禍でのキャン

パスでのデートや性的暴力のサバイバーに対するサポートをソーシャルワークの視点で論じるものなどが中心であった。日本における CSW 実践に類する内容が含まれる内容が記述されたものは以下があった。例えば、M.Alejandra et al. (2022) が、PTSD のスクリーニングと短期介入に関して公立大学のマイノリティ学生 (Underrepresented students) を対象に実施した研究の中で、大学でフルタイムの SWr を雇うことの提案が明記されていた。また、Lori K et al. (2014) はドラッグやアルコールの依存症の回復過程にある学生のグループ活動に SWr が関与していることを報告している。

HP 調査では、例えば University of California, Irvine 校 (US) において Office of campus social work (OCS) があり、複数名の SWr が所属していることが分かった。OCS は Counseling Center や Student Health Center とは別に、SWr が住宅に関する支援、相談支援や調整、その他に不幸にして学生が死亡した際の情報の調整などを学生の家族や近親者と協力して行うと HP に明示されていた。また、New Castle 大学 (イングランド) では、「Student Wellbeing」という組織があり、Mental Health Adviser という職名で SWr の配置があった。障害者サポートの手配や調整、外部のメンタルヘルス機関との連絡などを担っている説明が確認できた。

5. 考察

欧米での CSW に関する学術論文は豊富とはいえない状況にあると思われた。福祉制度は国ごとに異なるとはいえ、インタビューなどの更なる調査が必要である。また、日本では小・中学校等へのスクールソーシャルワーカーの配置が増えていることを考えると、大学にも SW を配置する体制の継続性も求められよう。CSW の専門性の確立が急がれる。さらに今後はアジア圏の大学の動向についても調査を行い、日本の高等教育におけるソーシャルワーク実践の理論化を学術的に整理していく必要がある。

文献

Bennett ER, Snyder S and Howley C (2021) Supporting survivors of campus dating and sexual violence during COVID-19: A social work perspective. SOCIAL WORK IN HEALTH CARE.

Lori K. Holleran Steiker, Ivana Grahovac and William L. White (2014) Social Work and Collegiate Recovery Programs, Social Work, 59(2).

M.Alejandra Acuña, Todd M. Franke and Allen E. Lipscomb (2022) Coping and Resilience: PTSD Screening and Brief Intervention for Underrepresented Students at a Public University, Social Work, 67.

米村美奈 (2008) 「高等教育機関における教育機能としてのソーシャルワーク支援の必要性」『淑徳大学社会福祉研究所総合福祉研究』13, 39-59.